JSPE59 | INTERNATIONAL INVITED LECTURE

海外招聘演者 Erica L.T. van den Akker 先生の講演をご紹介します



第 59 回日本小児内分泌学会学術集会では、オランダの Erasmus MC – Sophia Children's Hospital より、Erica L.T. van den Akker 先生をお迎えします。

Erica 先生は、小児肥満や成長障害、成長ホルモン治療を専門とし、国際的な研究・診療に取り組まれています。

今回は、小児肥満の内分泌学的評価に関する海外招聘講演に加え、スイーツセミナーでは欧州における成長障害の診断と GH 治療の最新動向についてもご講演いただきます。

いずれも、日本の小児内分泌診療にとって大変興味深い内容です。講演に先立ち、それぞれの注目ポイントをご紹介します。

海外招聘講演

小児肥満を内分泌学的視点から考える ― 国際ガイドライン策定に向けた新たなエビデンス

Endocrine Aspects in the Diagnosis and Management of Pediatric Obesity

演者：Erica L.T. van den Akker　|　座長：山本 幸代（産業医科大学）

2026 年 11 月 6 日（金）13:25〜14:15

第 1 会場（北九州メッセ 1 階 B 展示場）

肥満に伴う内分泌学的変化を、どう理解し、診療に生かすか？

小児肥満では、TSH の軽度上昇、成長促進、GH 分泌反応の低下など、さまざまな内分泌学的変化がみられます。これらは肥満に伴う生理的な変化なのでしょうか。それとも、精査や治療が必要な内分泌疾患を示唆する所見なのでしょうか。

これまでの小児肥満ガイドラインでも内分泌疾患は取り上げられてきましたが、二次性肥満の原因疾患としての鑑別に重点が置かれることも少なくありませんでした。

現在、国際的な小児内分泌専門家グループにより策定が進められているガイドラインでは、肥満そのものが内分泌機能に及ぼす影響にも焦点を当て、関連するエビデンスを体系的に整理するという視点が重視されています。

本講演では、こうしたガイドライン策定の背景とともに、甲状腺機能、成長・GH 分泌の評価、遺伝性肥満の診断などについて、最新のエビデンスをもとに解説いただく予定です。

また、幼児期発症の高度肥満において、どのような場合に遺伝的原因を疑い、遺伝学的検査を考慮すべきかという点も、日常診療に役立つ重要なテーマです。

小児肥満を内分泌学的な視点から改めて考える貴重な機会です。

講演の注目ポイント ― Take-Home Messages

01｜肥満に伴う内分泌学的変化を正しく理解する

TSH の軽度上昇や成長・GH 分泌の変化は、肥満に伴う生理的適応を反映する場合があります。真の内分泌疾患との区別が重要です。

02｜軽度 TSH 上昇は、必ずしも治療を必要としない

肥満児の軽度 TSH 上昇は体重減少に伴って改善することもあります。明らかな甲状腺機能低下症がなければ、体重減少を目的とした甲状腺ホルモン治療は推奨されません。

03｜肥満児の成長と GH 刺激試験は慎重に評価する

肥満児では小児期の成長が促進される一方、GH 刺激試験の反応は低下する傾向があります。成長曲線と肥満の影響を踏まえた解釈が必要です。

04｜早期発症肥満では遺伝的原因を考える

特に乳幼児期早期に発症する肥満では、遺伝性肥満を疑う視点が重要です。どのような場合に遺伝学的検査を考慮するか、最新の知見が紹介されます。

肥満に伴う生理的変化を理解し、不要な検査・治療を避けながら、見逃してはならない内分泌疾患や遺伝性疾患を適切に診断する。

Erica 先生はスイーツセミナーでもご講演されます

スイーツセミナー1

2026 年 11 月 5 日（木）15:40～16:30

第 4 会場（北九州国際会議場 2 階 21 会議室）

欧州における小児の成長障害と成長ホルモン治療の最新動向

小児の低身長診療は、遺伝学的診断の進歩や新しい GH 製剤の登場により、変わりつつあります。

本セミナーでは、欧州、特にオランダにおける成長障害の診断と GH 治療の現状について、最新の知見をご紹介いただきます。

GH 治療の適応疾患や GH 製剤の進歩に加え、低身長の鑑別診断における遺伝学的検査の役割も注目されるテーマです。また、思春期における GH 分泌能の再評価や、治療継続の必要性を見直す新たなエビデンスについても紹介される予定です。

より正確な診断と、個々の患者に応じた GH 治療の選択へ。

欧州の最新の診療動向を知る貴重な機会です。

詳細は学術集会プログラムをご覧ください。

英語講演をより身近に

今回の講演では、英語での講演をより多くの先生方に楽しんでいただけるよう、AI を活用した同時翻訳システムを導入予定です。

講演の英語と日本語訳をスクリーンにリアルタイムで表示し、英語での聴講に不安のある先生方にも、内容を理解していただきやすい環境を準備しています。

ぜひこの機会に、欧州の最新の知見に触れていただければ幸いです。